

2.1.3.4 スイッチ3 音声選択

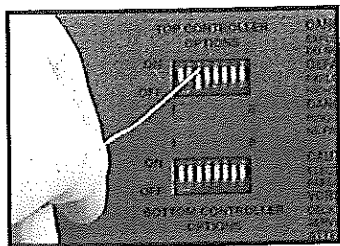
注記:

- このスイッチは、E9000及び、アドバンテージコントローラーの上部のみ(ポート1とポート2)に適用されます。
- マイクロチョイスソー(レシプロケーティング-5020-023、サジタル-5020-022、オシレーティング-5020-024)、またはパーフォレータードライブハンドピース(E0-9015)の使用中は、音声選択の操作ができません。

ユーザーが音声選択により、音声をONまたはOFFにすることができます。

音声が「ON」に設定されているとき、フットスイッチ(52ページの「2.1.7 フットスイッチの操作(アドバンテージ上部のみ、パワープロ及びE9000)」を参照)、2ボタンハンドピース(LC-9824またはD0-9824)、またはフルファンクションハンドピース(MC-9828またはLC-9828)で方向を変える度に、正方向、逆方向でオシレートを音声で知らせます。

- 音声をONに設定するには、スイッチ3を「ON」位置にします。



- 音声をOFFに設定するには、スイッチ3を「OFF」位置にします。

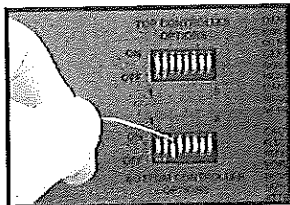
2.1.3.5 スイッチ3 ハンドピース操作モード選択(パワープロエレクトリックツートリガーハンドピースのみ)

注記:

- このスイッチは、パワープロコンソールと、アドバンテージコントローラーのポート3)に適用されます。
- コントローラーの工場出荷時の設定は、デフォルトモードです。

ハンドピース操作モードの選択で、ユーザーがパワープロツートリガーハンドピース(PR-2200-E)をデフォルトモード操作とスイスモード操作のどちらかに機能を切り替えることができます(関連するパワープロハンドピースの、ハンドピース操作に関する指示マニュアルを参照)。

- パワープロツートリガーハンドピースをデフォルトモード操作で作動するようにコントローラーを設定するには、パワープロコンソールまたはアドバンテージコントローラー下部のスイッチ3を「OFF」位置にしてください。
- パワープロツートリガーハンドピースをスイスモード操作で作動するようにコントローラーを設定するには、パワープロコンソールまたはアドバンテージコントローラー下部のスイッチ3を「ON」位置にしてください。



2.1.3.6 スイッチ4 オシレートモード選択(シェーパーハンドピースのみ)

注記:

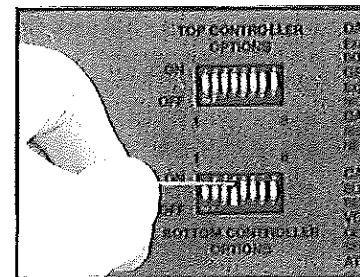
- このスイッチは、E9000及びパワープロコンソール、アドバンテージコントローラーの全ポートに適用されます。
- このスイッチの機能説明は、D0-9924のアドバンテージターボハンドピースには適用されません。40ページの「2.1.3.7 スイッチ4 オシレートモード選択(ターボシェーパーハンドピースのみ-D0-9924-000-00)」を参照してください。

このスイッチの位置で、マイクロチョイスシェーパーハンドピース、APEXシェーパーハンドピースE0-9005ハイスピードシェーパー、またはアドバンテージシェーパーハンドピース(D0-9824)の操作モードが、単一、または複数ターンオシレーションモードになります。

2ペダルのフットスイッチ(5020-053)を使用する際は、フットスイッチの左ペダル(52ページの「2.1.7 フットスイッチの操作(アドバンテージ上部のみ、パワープロ及びE9000)」を参照)で、最初にオシレーションモードを選択してください。フルファンクションシェーパーハンドピース(MC-9820、LC-9828)、APEXの2ボタンハンドピース(LC-9824)、またはアドバンテージの2ボタンシェーパー(D0-9824)を使用する場合にはハンドピースの方向選択ボタンを押しても選択することができます。



- コントローラーが単一ターンオシレートモードで動作するように設定されているとき、2ペダルフットスイッチ(5020-053)の右ペダル、または3ペダルフットスイッチ(MC-9863)の中央ペダルを踏むと、ブレードが一方方向に数回転し、次に逆方向に数回転します。各方向の回転数は、オシレーション速度に比例します。
 - 単一ターンオシレートモードにコントローラーを設定するには、スイッチ4を「OFF」位置にします。
- コントローラーが複数ターンオシレートモードで動作するように設定されているとき、2ペダルフットスイッチ(5020-053)の右ペダル、または3ペダルフットスイッチ(MC-9863)の中央ペダルを踏むと、ブレードが一方方向に約1回転し、次に逆方向に1回転します。
 - 複数ターンオシレーションモードにコントローラーを設定するには、スイッチ4を「ON」位置にします。



2.1.3.7 スイッチ4 オシレートモード選択 (ターボシェーバーハンドピースのみ D0-9924-000-00)


注記：このスイッチの機能説明は、D0-9924のアドバンテージターボシェーバーハンドピースに適用されます。

このスイッチの位置で、アドバンテージターボシェーバーハンドピース(D0-9924)の固定(5回転)か、調節(1~10回転)のマルチターンオシレーションの操作モードになります。

1. コントローラーを固定マルチオシレートモードに設定する場合、スイッチ4を「OFF」位置にします。
2. コントローラーを調節マルチオシレートモードに設定する場合、スイッチ4を「ON」位置にします。
3. 回転数を調節するには；
 - (a) ターボハンドピースが接続されていたら、取り外します。
 - (b) コンソールの電源をOFFにし、MC-5057ユニバーサルコードを接続します。
 - (c) コンソールの電源を再びONにする間、コードボタンを押したままにします。ディスプレイに、「Cal Requested」と表示されたら、ボタンを放してください。
 - (d) その後、「EnterDigit 1」と表示されたらボタンを1回→「EnterDigit 2」と表示されたらボタンを1回→「EnterDigit 3」と表示さ

40

れたら、ボタンを1回押してください。

- (e) 完了したら、コンソールに「Oscillate 1 Turn」と表示され、数字の1が点灯します。
 - (f) 回転数を変更するには、コードボタンを1~10の間の必要な数になるまで押して放します。
 - (g) このメニュー画面を終了するときは、何もしないでください(コードボタンを押さない)。コンソールはタイムアウトし、通常の表示に戻ります。
 - (h) MC-5057ユニバーサルコードを外し、再びターボハンドピースを接続してください。
4. アドバンテージ2ボタンターボシェーバーハンドピース(D0-9924)を使用する場合、オシレーションモードは、ハンドピースの方向選択ボタンで選択できます。
 5. 2ペダルフットスイッチを使用して、ターボハンドピースを操作するには、フットスイッチの左ペダルを踏んでオシレーションモードを選択します(52ページ「2.1.7 フットスイッチ操作(アドバンテージ上部のみ、パワープロ及びE9000)」。右ペダルを踏むと、ハンドピースが作動します。
 6. 3ペダルフットスイッチ(MC-9863)を使用する場合、中央ペダルを踏みます。
 7. 回転数を再度調節したい場合、3.の(a)~(h)を繰り返します。

2.1.3.8 スイッチ5 ウィンドインデックス 機能

注記：

1. このスイッチは、E9000及び、アドバンテージコントローラーの上部のみに適用されます。
2. ウィンドインデックスは、すべてのグループ3ハンドピースと、E0-9005ハイスピードシェーバーにのみ適用されます。

E9000コンソール、またはアドバンテージコントローラー上部のDIPスイッチ5で、ウィンドインデックスが有効になっているとき、フットスイッチ、またはハンドピースのON/OFFボタンは「インデックス」、すなわち、ブレードが停止するたびに、たとえどこで作動させても、どこで停止させても、同じ位置でカッティングウィンドウを停止させます。ウィンドインデックスは、パーには適用されません。

1. ウィンドインデックスを有効にするには、E9000コンソール、またはアドバンテージコントローラー上部のDIPスイッチ5を「ON」位置にします。

注記：ウィンドインデックス有効時(DIPスイッチ5「ON」のとき)、フットスイッチはMC-9840、E0-9005ハンドピースを「ON/OFF」モードでのみ操作できます。MC-9820/9824/9828ハンドピース使用時は、シェーバーブレードのみ適用となります。他のすべてのハンドピースは、DIPスイッチ2の選択により操作します。

41

2. ハンドピースでウィンドインデックスを設定するには：

- (a) 「ON/OFF」ボタンを押したままにします。一回ピーという音がして、ブレードがゆっくり回転します。カッティングウィンドウが必要な位置にきたら、ボタンを放します。
- (b) 「ON/OFF」ボタンを素早く押して放すと、ハンドピースは設定された速度で作動し、設定された位置で停止します。

3. ウィンドインデックスを、フットスイッチで設定するには：

注記：2ペダルフットスイッチ(5020-053)使用時、右ペダルを使用してのみウィンドインデックスの設定ができます。3ペダルフットスイッチ(MC-9863)使用時は、中央ペダル以外の、左、または右ペダルで設定できます。

- (a) 1回ピーという音が聞こえるまで、ゆっくりとペダルを踏み、そのまま維持します。ブレードがゆっくりと回転します。カッティングウィンドウが必要な位置にきたら、ペダルを放します。

注記：一度ブレードが回転し始めたら、必要であればペダルをめいっぱい踏むことができます。

- (b) ペダルを素早く踏みます。ハンドピースは設定した速度で作動し、設定した位置で停止します。

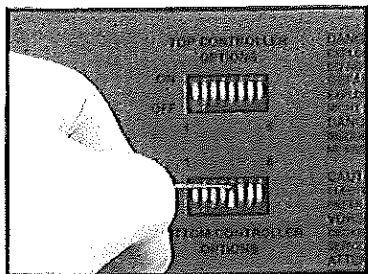
4. ウィンドインデックスを解除するには、E9000コンソール、またはアドバンテージコントローラー上部のDIPスイッチ5を「OFF」位置にします。

2.1.3.9 スイッチ5 ディスプレイモード選択

注記：このスイッチは、パワープロコンソール、アドバンテージコントローラー下部にのみ適用されません。

このスイッチの位置で、コントローラーの情報表示方法は、テキストか記号のどちらかに決まります。

1. コントローラーがテキストモードの情報表示に設定されているとき、情報はすべて英語のテキストで表示されます。
 - (a) テキストモードにコントローラーを設定するには、スイッチ5（パワープロコンソール、アドバンテージコントローラー下部にのみ）を「OFF」位置にします。
2. コントローラーがグラフィックモードの情報表示に設定されているとき、情報はすべて記号で表示されます。
 - (a) グラフィックモードにコントローラーを設定するには、スイッチ5（パワープロコンソール、アドバンテージコントローラー下部にのみ）を「ON」位置にします。



2.1.3.10 スイッチ6/スイッチ7 シェーパードefaultスピードの設定

注記：

1. スイッチ6のこの機能説明は、E9000及び、アドバンテージコントローラーの上部にのみ適用されます。
2. スイッチ7のこの機能説明は、アドバンテージコントローラーの下部にのみ適用されます。
3. このオプションは、アドバンテージ2ボタンシェーパーハンドピース(D0-9824/9924)にのみ適用されます。

このスイッチはこれらのハンドピース使用時の、ハイスピードバーのデフォルト操作スピードの設定に使用します。

1. E9000コンソール、アドバンテージコントローラーの上部のDIPスイッチ6、またはアドバンテージコントローラーの下部のDIPスイッチ7が「ON」になっているとき、ハイスピードバーの使用時、これらのハンドピースの初期操作速度は最大になっています。
2. E9000コンソール、アドバンテージコントローラーの上部のDIPスイッチ6、またはアドバンテージコントローラーの下部のDIPスイッチ7が「OFF」になっているとき、ハイスピードバーの使用時、これらのハンドピースの初期操作速度は7,000rpmになっています。

2.1.3.11 スイッチ6（下部のみ）スペシャルハンドピース操作モード選択（パワープロツートリガーハンドピースのみ）

注記：

1. スイッチ6のこの機能説明は、パワープロコンソールと、アドバンテージコントローラーの下部（ポート3）にのみ適用されます。この作業は、スイッチ3と関連しています。
2. エレクトリックハンドピースの初期操作設定を維持するには、パワープロコンソールと、アドバンテージコントローラーの下部（ポート3）のスイッチ6を「OFF」位置にします。

この選択は、ユーザーが、パワープロツートリガーエレクトリックハンドピースの機能を、パワープロバッテリーハンドピース(PR-5200/5250)の機能に切り替えることができます（パワープロハンドピースの指示マニュアルを参照してください）。

1. パワープロツートリガーエレクトリックハンドピースを、PR-5200パワープロバッテリーハンドピースのように操作できるようコントローラーを設定するには、パワープロコンソール、またはアドバンテージコントローラー下部の、スイッチ6を「ON」位置にし、スイッチ3を「OFF」位置にします。
2. パワープロツートリガーエレクトリックハンドピースを、PR-5250パワープロバッテリーハンドピースのように操作できるようコントローラーを設定するには、パワープロコンソール、またはアドバンテージコントローラー下部の、スイッチ6を「ON」位置にし、スイッチ3を「ON」位置にします。

2.1.3.12 スイッチ7 シェーパーボタン設定

注記：

1. このスイッチに関する説明は、E9000コンソール、及びアドバンテージコントローラーの上部にのみ適用されます。
2. このオプションは、MC9824/9828/D0-9824/9924ハンドピースにのみ適用されます。

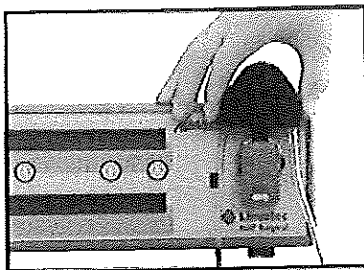
このスイッチは、すべてのハンドピースのボタンを有効または無効にするのに使用します。

1. これらのハンドピースのボタンを有効にするには、スイッチ7を「OFF」位置にしてください。
2. これらのハンドピースのボタンを無効にするには、スイッチ7を「ON」位置にしてください。

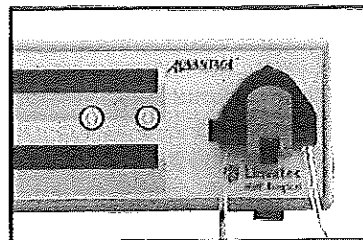
2.1.4 チューピングカセットの取り付け

イリゲーションを使用する場合（E0-9010ハイスピードドリル使用時に必要）、以下のようにチューピングセットの取り付けの外科用滅菌手順に沿って使用してください。

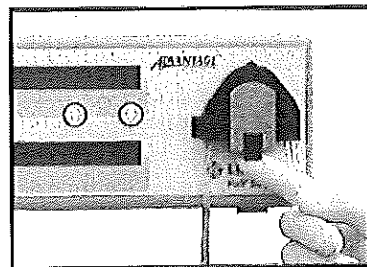
1. 外回り看護師 — チューブの包みを開封する。包みの中身を清潔域看護師に渡す。
2. 清潔域看護師 — チューブセットをその滅菌パッケージから取り出し、黒いカセットと袋スパイクを滅菌領域に通し、外回り看護師に渡します。
3. 外回り看護師 — チューブを下に向け、黒いタブを金属プレートに隠すようにして、コントローラーのポンプローターの上にカセットを取り付けます。



4. カセットが適切にパチンとはまるまで、下方にスライドさせます。



5. 袋スパイクからキャップを取り外し、スパイクを滅菌液タンクに接続します。
6. カセットを取り外すには、カセットの底にある黒いタブを引き出します。



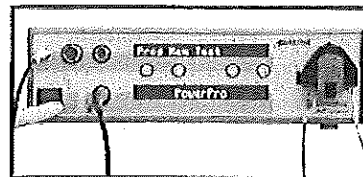
7. 使用後は、チューピングセットを適切に廃棄してください。



2.1.5 コントローラー操作

「CONTROLLER OPTION/FUNCTION」スイッチにすべて必要な設定が完了し、チューピングセットを取り付けた後、イリゲーションを使用する場合、コントローラーを「ON」にしてください。

1. コントローラーの正面にある、スタンバイ電源スイッチを押して「ON」位置にし、コントローラーを起動させます。



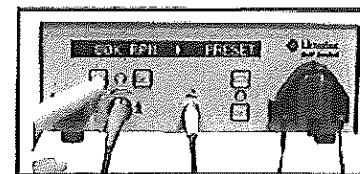
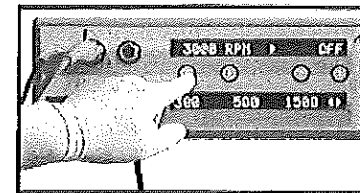
・自己診断テストが行われ、上部のディスプレイには「Prog Mem Test」と表示されます。

・テストが終了すると、コントローラーは、取り付けられたハンドピースを感知し、ハンドピース及びコントローラーのどの部分にハンドピースが接続されるかによって、テキスト形式またはグラフィック形式のいずれか、操作モード、操作速度及び/または方向の設定を表示します。

ユーザー入力の設定がない場合は、はじめにハンドピースはデフォルト設定で作動します。希望する速度とイリゲーション設定は、36ページの「2.1.3.2 スイッチ1 Day to Dayメモリーの保存操作」にある指示に従って操作してください。

2. コントローラーのボタンを使って、ハンドピース速度を調節するには（アドバンテージコントローラー上部のみとE9000コンソール）：

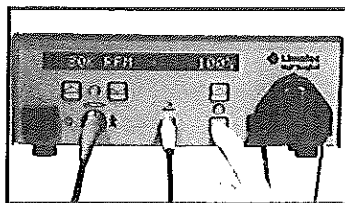
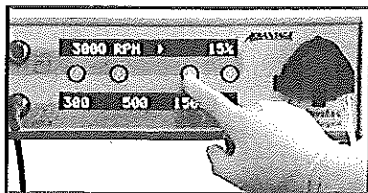
(a) フロントパネルの加速または減速ボタンを押してください。



3. ハンドピースコードボタンで速度設定を調節するには（該当する場合）、90ページの「3.6.5 グループ2 ハンドピースコードボタンの操作」または97ページの「3.9.2.4 ハンドピースコードボタンでの速度変更」を参照してください。

4. 洗浄流量（アドバンテージコントローラー上部のみとE9000コンソール）を調節するには：

(a) フロントパネルの流量増加または減少ボタンを押してください。




注記：E0-9010ハイスピードドリルと、E0-9414チューブセットを使用する場合、流量は変えられません。ディスプレイは流量に関して「PRESET」と表示されます。

2.1.6 パワープロコンソールイリゲーション

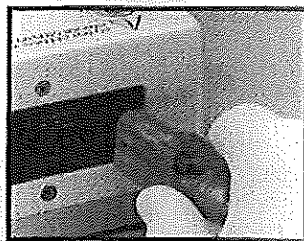
この情報は、パワープロコンソールに使用するHallイリゲーションポンプ(5040-039、110Vまたは5040-239、220V)の取り付けと使用について説明するものです。このイリゲーションポンプは現在販売されていません。

2.1.6.1 イリゲーションポンプの取り付け

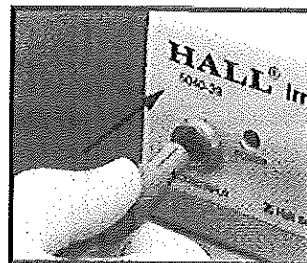
注記：イリゲーションポンプは、マイクロチョイスとドリルとソー、及びMC-9840スモールシェーパーハンドピースでのみ作動します。

 Hallイリゲーションポンプ(5040-039/239)は、マイクロチョイスドリルもしくはソー、またはMC-9840スモールシェーパーハンドピース使用時にイリゲーションが必要ときに使用してください。イリゲーションの設置に関する詳細は、Hallイリゲーションシステム取扱説明書を参照するか、弊社にご連絡ください。

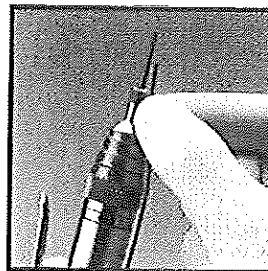
1. 定められた区域内で、コントローラーの上部にイリゲーションポンプを置きます。
2. 電源コードをイリゲーションポンプの後ろ、及び標準アースコンセントに差し込みます。



3. イリゲーションコードのコンネクターをイリゲーションポンプ前部の「ELECTRIC INPUT」ソケットに挿入します。



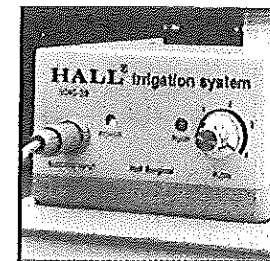
4. イリゲーションコードのコンネクターの他方の端を、パワープロコンソールの後ろのIRRIGATIONソケットに挿入します。
5. イリゲーションのハンガーと溶液バッグをポンプに取り付けます。
6. イリゲーションチューブを、イリゲーションポンプに確実に取り付けます。
7. 適切なイリゲーションチップとチューブをハンドピースに取り付けます。詳しくは、Hallイリゲーションシステム取扱説明書を参照してください。



2.1.6.2 イリゲーションポンプの操作

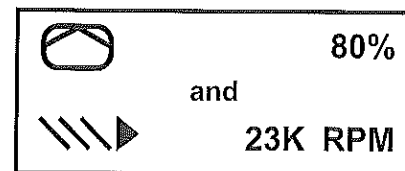
注記：すべてのハンドピースとアタッチメントオプションの流量デフォルト設定は100%です。

1. ポンプの電源を入れます。「FLOW」制御ダイヤルを最大流量（4）まで回します。



コントローラーは、使用中のハンドピースとその動作速度を一緒に、及び「IRRIGATION」と現在のイリゲーション流量「###%」を交互に表示します。

テキストまたはグラフィック表示モードのいずれかにより、この内容は以下に示すように文字か記号で表示されます。

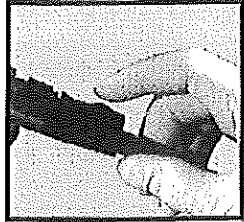


注記：

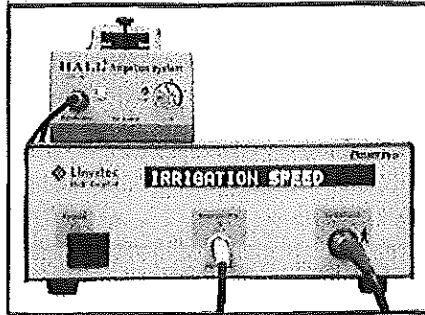
1. 例として、50ページの文字と記号フローチャートを参照してください。
2. 手順2は、APEXシェーパーハンドピースのいずれにも適用されません。

2. イリゲーション流量、またはハンドピース速度のいずれかを変更するには、次のように実行してください。

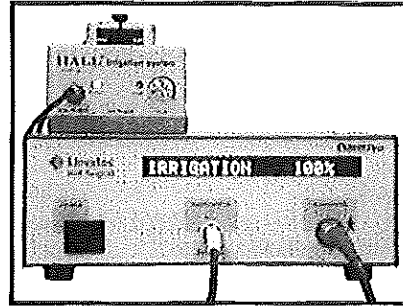
- (a) ハンドピースコードボタンを2回押して、オプションメニューを出してください。



- (b) 「IRRIGATION」及び「SPEED」が表示され、「IRRIGATION」は点滅します。



- (c) イリゲーション流量が変更される場合、何もする必要がありません。メニューはデフォルトでイリゲーション流量メニューになります。「IRRIGATION」の文字が「###%」（「###」は点滅）と共に表示されます。ハンドピース速度のみを変更し、イリゲーション流量は変更しない場合は、手順2 (g)に進みます。




- (d) 必要な流量が表示されるまで、ハンドピースコードボタンを押します。そして、押すのを止めます（速度は点滅します）。
- (e) 動作速度を変更するには、必要な速度が表示されるまで、ハンドピースコードボタンを押します。
- (f) コントローラーは、現在の設定で作動準備完了です。手順3に進みます。

- (g) イリゲーション流量を変えずに、ハンドピースの速度のみを変更する場合、「SPEED」という文字が点滅するまで、ハンドピースコードボタンを押します。メニューはデフォルトで、ハンドピース速度メニューになります。取り付けられているハンドピースのタイプ、及び現在の動作速度が表示されます（速度は点滅します）。

- (h) 動作速度を変更するには、必要な速度が表示されるまで、ハンドピースコードボタンを押します。そして押すのを止めます。

3. ハンドピースとポンプを同時に起動するには、適切な起動装置（アクティベーションレバーまたはフットスイッチペダル）を押し下げてください。

イリゲーション流量とハンドピース速度の調節
(いずれのAPEXシェーバーハンドピースにも適用されません)

 メニュー項目を入力し、イリゲーション流量とハンドピース速度の両方を調節するには、ハンドピースコードボタンを2、3回押してください。

テキスト表示モード


「IRRIGATION」 「SPEED」

「IRRIGATION」は点滅

何もしない


「IRRIGATION」 「###%」

「###%」は点滅


 必要な流量が表示されるまでハンドピースコードボタンを押します。ボタンを押すのを止めます。数秒後、メニューはデフォルトで速度メニューになり、取り付けられているハンドピース及び現在の設定速度が表示されます。

「HIGH SPEED」 「###K RPM」

「###」は点滅


 必要な速度が表示されるまでハンドピースコードボタンを押します。ボタンを押すのを止めます。

グラフィック表示モード

  RPM 

 100%


 80%

 70K RPM

 100K RPM

ハンドピース速度のみの調節


(いずれのAPEXシェーバーハンドピースにも適用されません)

 メニュー項目を入力し、ハンドピース速度のみを調節するには、ハンドピースコードボタンを2、3回押してください。

テキスト表示モード

「IRRIGATION」 「SPEED」


「IRRIGATION」は点滅

 「SPEED」が点滅するまでハンドピースコードボタンを押します。

メニューはデフォルトで速度メニューになり、取り付けられているハンドピース及び現在の設定速度が表示されます。


「HIGH SPEED」 「###K RPM」

「###」は点滅

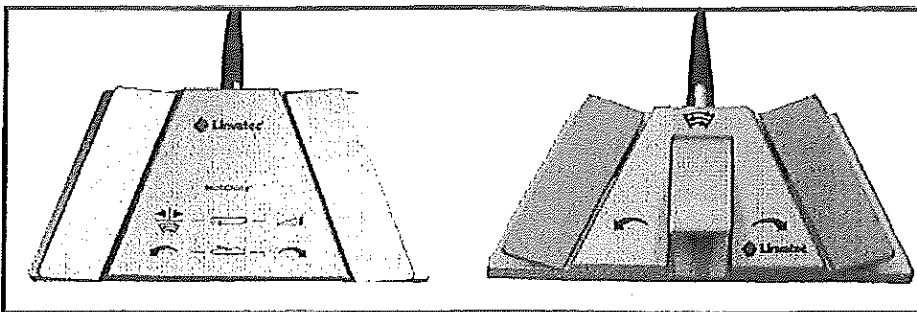
 必要な流量が表示されるまでハンドピースコードボタンを押します。ボタンを押すのを止めます。

グラフィック表示モード

  RPM 

 70K RPM

 100K RPM



2.1.7 フットスイッチの操作 (アドバンテージ コントローラー上部のみ、パワープロ 及びE9000コンソール)

警告：不注意によるハンドピースの作動を避けるために、レバー付きハンドピースや、2ボタンまたはフルファンクションシェーバーハンドピースの使用中は、フットスイッチのプラグを抜いてください。フットスイッチがコントローラーに接続されていると、作動可能な状態になっています。

注記：

- 2ペダルと3ペダルのどちらのフットスイッチでも、パワープロコンソール、またはアドバンテージコントローラー上部のポート1またはポート2でのみ操作されるハンドピースを制御します。
- ハンドピースとフットスイッチは、先着順で作動します。ハンドピースがフットスイッチで作動する場合は、ハンドピースの作動レバーまたはボタンは、フットスイッチが解放されるまでは操作できません。また、その逆も同様です。
- パワープロハンドピース、マイクロチョイスモジュラーハンドピース、ミニドライバースハンドピースは、フットスイッチでは作動しません。

ハンドピースがコントローラーに取り付けられている時、ソフトウェアは取り付けられているハンドピースの種類を感知し、それによってフットスイッチが操作されるようにプログラムします。

- どちらのフットスイッチ (5023-053またはMC-9863) も、パワープロハンドピース、ミニドライバースハンドピース (L3-K500)、マイクロチョイスモジュラーハンドピース (5020-027) を除き、どのハンドピースと共に使用した場合でも、「可変速度」モードまたは「ON/OFF」モードのどちらでも作動します。フットスイッチモードの選択に関する情報は、37ページの「2.1.3.3 スイッチ2 フットスイッチモード選択」を参照してください。

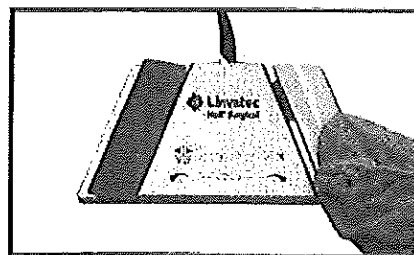
- 「可変速度」モードで操作しているとき、対応するペダルにかかる踏力によってあらかじめ決められた限度内で速度が変わります。ブレード速度の最低・最高範囲は、使用中のシェーバーハンドピースとカッター・ブレードで決まります (操作速度の変更に関する情報は、45ページの「2.1.5 コントローラー操作」、90ページの「3.6.5 グループ2ハンドピースコードボタンの操作」、97ページの「3.9.2.4 ハンドピースコードボタンでの速度変更」を参照してください。)

- 「ON/OFF」モードで操作しているとき、ハンドピースのモーターはON (ペダルが踏まれている) とOFF (ペダルが解放されている) のどちらかです。モーターはペダルにかかる踏力に関係なく、固定速度で回転します (操作速度の変更に関する情報は、45ページの「2.1.5 コントローラー操作」、90ページの「3.6.5 グループ2ハンドピースコードボタンの操作」、97ページの「3.9.2.4 ハンドピースコードボタンでの速度変更」を参照してください。)

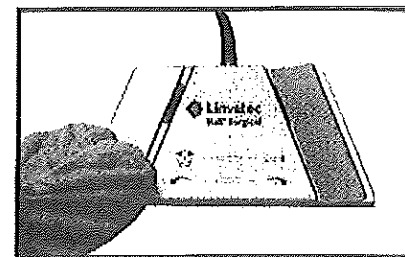
2.1.7.1 2ペダルフットスイッチの操作 (00- 5020-053-00)

マイクロチョイスハイスピードドリル (5020/6020-025)、ミディアムスピードドリル (5020/6020-021)、ロースピードドリル (5020-026) 使用時のフットスイッチの操作：

- フットスイッチの右ペダルを踏んで、ハンドピースを正方向に作動させます。



- 左ペダルを踏んで、ハンドピースを逆方向に作動させます。ハンドピースが最初に起動された場合は、短いピーという音がして、逆方向であることを示します。



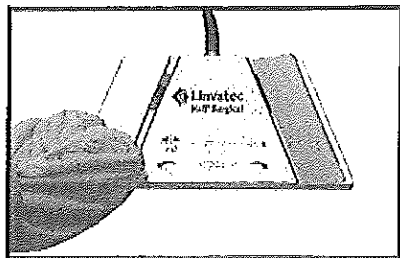
マイクロチョイスデジタルソー (5020/6020-022)、レシプロケーティングソー (5020/6020-023)、オシレーターハンドピース (5020/6020-024)、またはパーフォレータードライブ (E0-9015) 使用時のフットスイッチの操作：

- 左または右ペダルのどちらかを踏んで、ハンドピースを作動させてください。

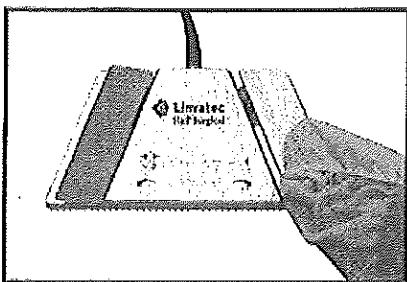
注記：これらのハンドピースには、オシレートまたはリバース (逆方向) モードはありません。

いずれかのハンドピース (MC-9820、LC-9820、MC-9828、LC-9828、MC-9840、LC-9840、LC-9824、E0-9005、D0-9824) 使用時のフットスイッチの操作:

1. フットスイッチの左ペダルを押して、必要な方向 (正方向、逆方向、またはオシレート) を設定します。コントローラーは方向の変更を表示し、左ペダルを踏むたびに、「ピー」という音がします。



2. ハンドピースを作動させるには、フットスイッチの右ペダルを踏んでください。動作速度と方向を示す矢印がコントローラー上に表示されます。



3. イリゲーションを使用するときは、右ペダルを踏むと、注水します。

ウインドウインデックス:

E9000コンソール、またはアドバンテージコントロール上部のDIPスイッチ5で、ウインドウインデックスが有効になっているとき (41ページの「2.1.3.8 スイッチ5 ウインドウインデックス」を参照してください)、フットスイッチ、またはハンドピースのON/OFFボタンは「インデックス」、すなわち、ブレードが停止するたびに、たとどこで作動させても、どこで停止させても、同じ位置でカッティングウインドウを停止させます。

注記: ウインドウインデックスは、すべてのグループ3ハンドピースと、E0-9005ハイスピードシェーバーにのみ適用されます。

ウインドウインデックス有効時 (DIPスイッチ5「ON」のとき)、フットスイッチはMC-9840、E0-9005ハンドピースを「ON/OFF」モードでのみ操作できます。「可変速度」モードは使用できません。MC-9820/9824/9828ハンドピース使用時は、シェーバーブレードのみ適用となります。他のすべてのハンドピースは、DIPスイッチ2の選択により操作します。

1. ウインドウインデックスを設定するには:

- (a) 1回ピーという音が聞こえるまで、ゆっくりと右ペダルを踏み、そのまま維持します。ブレードがゆっくりと回転します。カッティングウインドウが必要な位置にきたら、ペダルを放します。

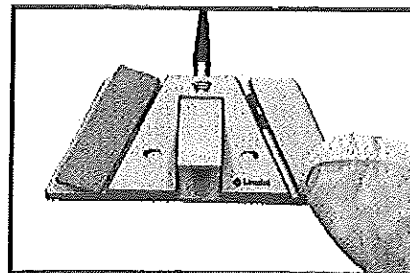
注記: 一度ブレードが回転し始めたら、必要であればペダルをめいっぱい踏むことができます。

- (b) ペダルを素早く踏みます。ハンドピースは設定した速度で作動し、設定した位置で停止します。

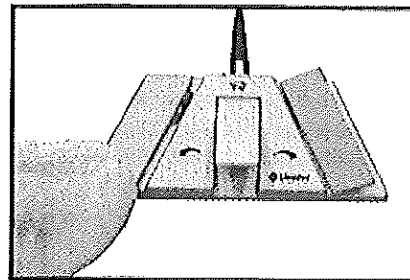
2.1.7.2 3ペダルフットスイッチの操作 (MC-9863-000-00)

マイクロチョイスハイスピードドリル (5020-025/6020-026)、ミディアムスピードドリル (5020/6020-021)、ロースピードドリル (5020-026) 使用時のフットスイッチの操作:

1. フットスイッチの右ペダルを踏んで、ハンドピースを正方向に作動させます。



2. 左ペダルを踏んで、ハンドピースを逆方向に作動させます。ハンドピースが最初に起動された場合は、短いピーという音がして、逆方向であることを示します。



3. これらのハンドピースは、中央ペダルでは作動しません。

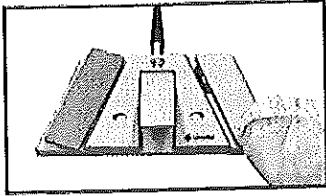
マイクロチョイスサジタルソー (5020/6020-022)、レシプロケーティングソー (5020/6020-023)、オシレーターハンドピース (5020/6020-024)、またはパーフォレータードライブ (E0-9015) 使用時のフットスイッチの操作:

注記: これらのハンドピースには、オシレートまたはリバース (逆方向) モードはありません。

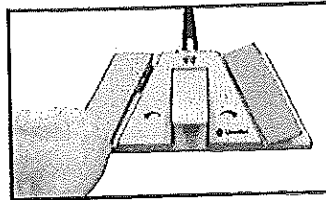
1. 左または右ペダルのどちらかを踏んで、ハンドピースを作動させてください。
2. これらのハンドピースは、中央ペダルでは作動しません。

いずれかのハンドピース(MC-9820、LC-9820、MC-9828、LC-9828、MC-9840、LC-9840、LC-9824、E0-9005、D0-9824)使用時のフットスイッチの操作:

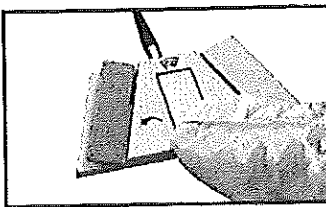
1. フットスイッチの右ペダルを踏んで、ハンドピースを正方向に作動させます。



2. 左ペダルを踏んで、ハンドピースを逆方向に作動させます。ハンドピースが最初に起動された場合は、短いピーという音がして、逆方向であることを示します。



3. 中央ペダルを踏んで、ハンドピースをオシレートモードで作動させます。中央ペダルでは、ON/OFFモードのみで、可変速度モードはありません。



4. イリゲーションを使用するときは、左または右ペダルいずれかを踏むと、注水します。

ウインドインデックス:

E9000コンソール、またはアドバンテージコントローラー上部のDIPスイッチ5で、ウインドインデックスが有効になっているとき(41ページの「2.1.3.8 スイッチ5 ウインドインデックス」を参照してください)、フットスイッチ、またはハンドピースのON/OFFボタンは「インデックス」、すなわち、ブレードが停止するたびに、たとえどこで作動させても、どこで停止させても、同じ位置でカッピングウインドウを停止させます。

1. ウインドインデックスを設定するには:

- (a) 1回ピーという音が聞こえるまで、ゆっくりと右または左ペダルを踏み、そのまま維持します。ブレードがゆっくりと回転します。カッピングウインドウが必要な位置にきたら、ペダルを放します。
- (b) ペダルを素早く踏みます。ハンドピースは設定した速度で作動し、設定した位置で停止します。

注記:

1. ウインドインデックスは、中央ペダルでは設定できません。
2. ウインドインデックス時、フットスイッチはON/OFFモードのみ作動します。可変速度モードは作動しません。

3.0 ハンドピースの操作

注意: グループ3のどのハンドピースでシェーバーブレード、またはバーを操作するときでも(92ページ「グループ3ハンドピース」参照)、シェーバーハンドピース吸引ポートバルブはOPEN、またはONにし、シェーバーブレード、またはバーは、関節内の灌流液(膨張媒介のタイプ)の中でご使用ください。これを怠ると、ブレードハブやバーハブの損傷が起こります。

警告: 使用していないときや、アタッチメントや付属品の取り付け・取り外し前には、必ずハンドピースをsafeに、またはoff位置があればoff位置にしてください。

注記:

1. レバー付きハンドピース(5020-021~025)を磁気ドレーブ上に置くと、コントローラーは、「MAGNETIC FIELD」と表示することがあります。このような磁気からハンドピースを遠ざけるまで、ハンドピースを操作できません。一度遠ざければ、コントローラーは3秒後にリセットします。

レバー付きハンドピースをパワープロコンソール、またはアドバンテージコントローラーのポート3で使用で、コントローラー下部のスイッチ5がグラフィック表示モードに設定されている場合、コントローラーは以下を表示します。

N◆◆S

2. バーを適切に固定せずにドリル(5020-021/025/026、E0-9010)の操作を行うと、故障モードとみなされます。適切にバーがない状態でハンドピースが数秒間作動すると、コントローラーは「STALL、CHECK BAR ROCK」と表示されます。適切にバーが固定され、フットスイッチやハンドピースの作動レバー(5020-021/025/026のみ)が押されていない状態で最低5秒間経過するまで、操作を開始することができません。

ハンドピース(E0-9010ハイスピードドリルを除く)がパワープロコンソール、またはアドバンテージコントローラーのポート3で使用されて、スイッチ5がグラフィック表示モードに設定されている場合は、コントローラーは以下を表示します。



3. バーが適切に固定された状態で、E0-9010ハイスピードドリルの初期作動の時点で「STALL、CHECK BAR ROCK」というメッセージが表示されている場合、これはドリルが正しくクリーニングされず、軸受けに破片が詰まった状態で固定している可能性があることを示しています。この問題を解決するには、以下を実行してください。

- (a) ハンドピースをコントローラーから取り外してください。
 - (b) バーが自由に回転するまで、ハンドピースのバーを指で回します。
 - (c) ハンドピースがフットスイッチで作動しているにも関わらず、まだそのメッセージが表示される場合は、ハンドピースとバーガードを点検のため弊社メンテナンスセンターに返却してください。
4. ハンドピースのコードは、コントローラーをoffにせずの一つのハンドピースから取り外して、別のハンドピースに接続することができます。
 5. ハンドピースコードの接続中に作動レバーやトリガーを押しても、ハンドピースは作動しません。
 6. マイクロチョイスモジュラーハンドピース(5020-027)、ミニドライバーハンドピース(L3-K600)、またはどのパワープロハンドピースも、フットスイッチでは作動しません。

グループ1ハンドピース

注記:

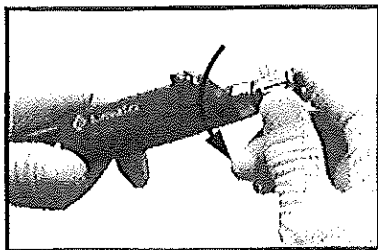
- グループ1のハンドピースは、ハイスピードシェーバー(E0-9005)、ハイスピードドリル、及びパーフォレータードライブ(E0-9015)で構成されています。
- グループ1ハンドピースは、E9000コンソールか、アドバンテージコントローラー(上部)のポート2のみで操作できます。

3.1 ハイスピードシェーバー(E0-9005-000-00)の操作

注記: イリゲーションを使用する場合には、E0-9416(4.2mm)またはE0-9417(3.7mm)のチュービングセットを使用してください。

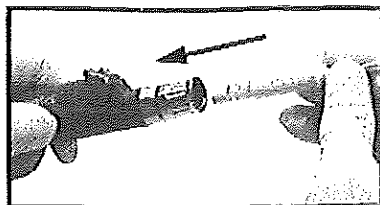
- シェーバーブレード、またはバーを挿入するには:

- ハンドピースのコレットの端から見て、コレットを時計回りに回してコレットを開けます。



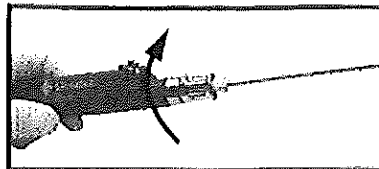
58

- シャフトが完全に固定されるまで、シェーバーブレード、またはバーを挿入します。



- シェーバーブレードを使用する場合、カッティングウィンドウが必要な位置になるまで、シェーバーブレードを回転させます。

- ロッキングコレットを時計回りに回して、シェーバーブレード、またはバーを固定します。

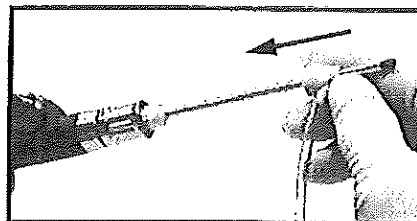


- シェーバーブレード、またはバーを引っ張って、適切に固定されたのを確認します。

- シェーバーブレード、またはバーを取り外すには、ハンドピースのコレット側の端から見て、ロッキングコレットを反時計回りに回して、開けます。シェーバーブレード、またはバーを引き抜きます。

- イリゲーションを使用中、E0-9416またはE0-9417チュービングセットが使用される場合:

- チュービングセットのイリゲーションカラーを、シェーバーブレードの末端部上でスライドさせて、チュービングをシェーバーブレードとハンドピースに取り付けます。

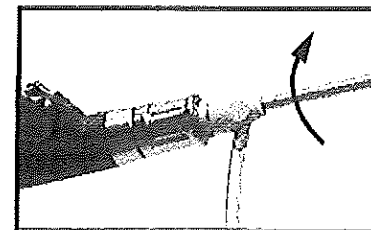


注記: シェーバーブレードを曲げる前に、イリゲーションのカラーを装着しなければなりません。ブレードの曲げに関しては、ブレードの説明書を参照。

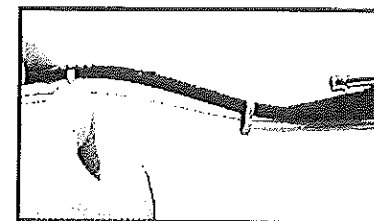
警告: E0-9005シェーバーを、2500~5000rpmまでのオシレートモードで、そしてシェーバーブレードが曲がった位置にある状態で操作するなら、E0-9416またはE0-9417イリゲーションチュービングセットのいずれかを使用し、イリゲーションは100%に設定しなくてはなりません。

- カラーの内部にある溝を、シェーバーブレードのハブ上の2個のハブ耳の上で完全にスライドさせます。

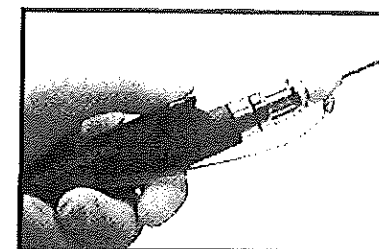
- イリゲーションカラーを時計方向に回し(約90°)、確実に固定させます。



- ハンドピースコードクリップを、ハンドピースケーブル上でパチンと留め、チューブを固定させます。



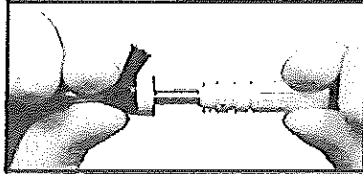
- 最良の切除を行うために、ハンドピース吸入ポート弁をハンドピースの正面方向に位置させることにより、それを完全に開けます。



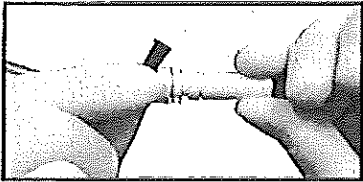
59

4. イリゲーションを使用中、E0-9419チューピングセットが使用される場合：

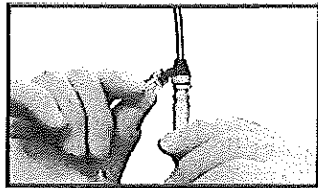
(a) シェーバーブレードに供給されたイリゲーションカラーが、ブレードハブ上に固定されていることを確認します。固定されていなければ、カラーの切抜きをブレードハブ上のタブに合わせてください。



(b) イリゲーションカラーを完全に押し込みます。ブレードを刃先から見て、時計回りにイリゲーションカラーを約1/4回転させます。

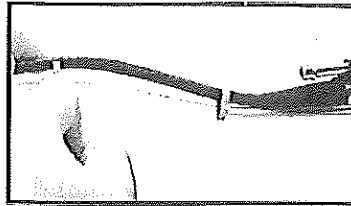


(c) チューピングセットライン上のルアーロックコネクタを、イリゲーションカラー上のもう片方のルアーロックコネクタに取り付け、固定されるまで時計回りに回します。

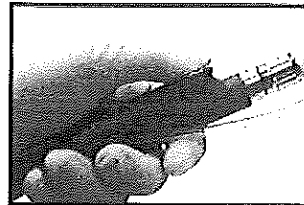


警告：E0-9005シェーバーを、2500～5000rpmまでのオシレートモードで、そしてシェーバーブレードが曲がった位置にある状態で操作するならば、E0-9416またはE0-9417イリゲーションチューピングセットのいずれかを使用し、イリゲーションは100%に設定しなくてはなりません。

(d) ハンドピースコードクリップを、ハンドピーススケープル上でパチンと留め、チューブを固定させます。



5. 最良の切除を行うために、ハンドピース吸入ポート弁をハンドピースの正面方向に位置させることにより、それを完全に開けます。



- 3.2 ハイスピードドリル(E0-9010-000-00)の操作

注意：

1. コレットを開けた状態でハンドピースの操作をしないでください。破損の原因となります。
2. ハンドピース本体の冷却は常時必要です。E0-9414またはE0-9415、E0-9415-A00のチューピングセットを使用するときは、チューブラインは完全に液体で満たさないと、ハンドピースが過熱して、損傷が生じます(チューピングセットの液体に関しては、66ページ「リサーキュレーションだけでのE0-9414チューピングセット」を参照してください。)
3. 開頭手術の処置中の骨切りに、E0-9010ドリルを使用するとき、バーを使用して骨切りを行ってください。過度の圧力は不要です。切断表面に対して、バーが垂直であることを確認します。切断ツールを傾けたり、力をかけすぎたり、バーを使って前後左右に動かして、骨の内部に入るようなことがあってはなりません。このようなことが行われると、ハンドピースが止まってしまふおそれがあり、コントローラーのディスプレイに「STALL,CHECK BAR LOCK」と表示されます。ハンドピースを再作動させるには、コントローラーをリセットするために、フットスイッチを数秒間放します。

警告：液体バッグに接続したことを確認します。これを怠ると、損傷やけがを招くおそれがあります。

注記：

1. ウルトラパワーシリーズ7021バーと、シリーズE0-4xxx/5xxx/6xxx/8xxxバーのみを使用してください。
2. E0-9010ハイスピードドリルと共に(イリゲーションなしに)E0-9414チューピングセットを使用する場合、流量を変えることはできません。ディスプレイには、流量に対して「PRESET」と表示されます。
3. E0-9010ハイスピードドリルと共に、E0-9415チューピングセットを使用すると流量のデフォルトは50%となり、40%から100%までの範囲で調節可能です。流量は遮断することができません。
4. このハンドピースにはオシレートモードはありません。

3.2.1 ハイスピードドリル(E0-9010-000-00)の 術前機能テスト

ハイスピードドリルの操作前に、適切に機能するか確かめるために、術前点検を行ってください。操作上の問題があれば、担当の販売代理店、または弊社メンテナンスセンターまでお知らせください。

警告：正しく機能しないドリルを使用すると、患者や医療従事者が負傷するおそれがあります。

1. ドリルの操作前に、以下のことをチェックしてください：

- ・ 部品の緩み、または外れが無いこと。
- ・ 物理的な損傷が無いこと。
- ・ 自由に動かない可動部分が無いこと。

2. 性能テスト：

(a) 63～68ページの指示に従って、適切なガード、付属品及び/またはチュービングセットを組み立ててください。

警告：ガードとバーが正しく取り付けられていることを確認してください。これを怠ると、患者や医療従事者が負傷するおそれがあります。

(b) 45～55ページにある操作指示に従って、ドリルを60,000rpmで30秒間、真っ直ぐな位置で操作して、以下の事項をチェックしてください：

- ・ 過度のノイズが無いこと。
- ・ 過度の振動が無いこと。

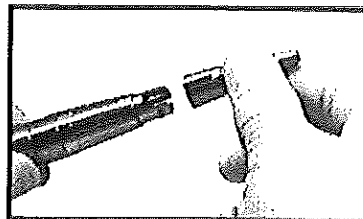
・ テスト手順中、または手術での使用中、ドリルやバーガードに触れると熱くないかどうか。

・ ドリルがその最大設定速度まで上がらない（対応するフットスイッチのペダルを完全に踏み込んで、最高設定速度を確認してください。最高速度がコントローラーに表示されることを確認してください。）。

3.2.2 バーガードアタッチメント

1. バーガードを取り付けるには：

(a) ガード上の刻みマークを、ハンドピースガードコレット上の刻みマークに合わせます。

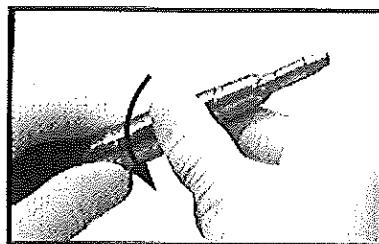


(b) ハンドピースのノーズ部分を見ながら、スィベルスリーブを持ち、ガードを完全に内側へ押し込みます。時計回りにねじって放します。これでガードは適切に固定されます。

2. 使用中のガードに適切なバーを選択します。

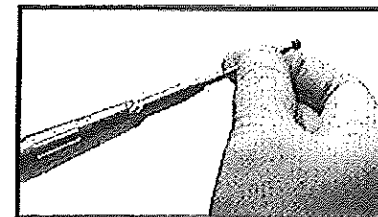
3. バーを装着するには：

(a) コレットのネジが、「unlock」アイコンの位置と合うまで、キーレスチャックを反時計回りに回します。



(b) 完全にバーを挿入します。バーシャンクの表面にセーフティラインが書かれていれば、それをガードで隠すようにします。

警告：バー上のセーフティラインマークが見えていないことを確認します。こうなっていないと、損傷や負傷するおそれがあります。



(c) コレットのネジが「lock」アイコンの位置と合うまで、キーレスチャックを時計回りに回します。



(d) バーを引っ張って、それが適切に固定されたことを確認します。

4. バーを取り外すには：

(a) コレットのネジが「unlock」のアイコンの位置と合うまで、キーレスチャックを反時計回りに回します。



(b) バーをコレットから引っ張り出します。

5. ガードを取り外すには：

(a) ガードを内側に向かって押し入れます。ガードを反時計回りにねじり、取り外します。

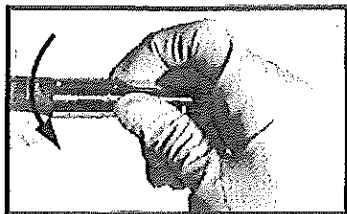
3.2.3 ニューロガードアタッチメント

ニューロガードとバーを使用の際は、ガードより先に、バーを挿入します。

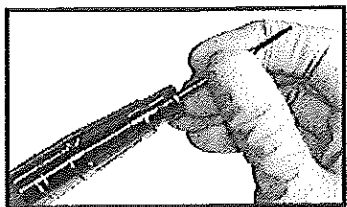
1. バーを取り付けるには：

(a) 使用中のガードに合うバーを選択する。

(b) コレットのネジが、「unlock」アイコンの位置と合うまでキーレスチャックを反時計回りに回します。



(c) バーを完全に挿入します。



(d) コレットのネジが「lock」アイコンの位置と合うまで、キーレスチャックを時計回りに回します。

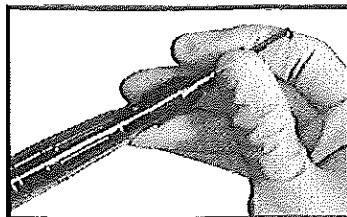


(e) バーを引っ張って、適切に固定されたことを確認します。

2. ニューロガードを取り付けるには：

(a) 使用中のバーにあうガードを選択します。

(b) ガード上の刻みマークを、ハンドピースガードコレット上の刻みマークに合わせます。



(c) ハンドピースのノーズ部分を見ながら、スイベルスリーブを持ち、ガードを完全に内側へ押し込みます。時計回りにねじって放します。これでガードは適切に固定されます。

3. バーとガードを取り外すには、ガードを最初に取り外さなくてはなりません：

(a) ガードを内側に向かって押し入れます。ガードを反時計回りにねじり、取り外します。

(b) コレットのネジが「unlock」アイコンの位置と合うまで、キーレスチャックを反時計回りに回し、バーを取り外します。



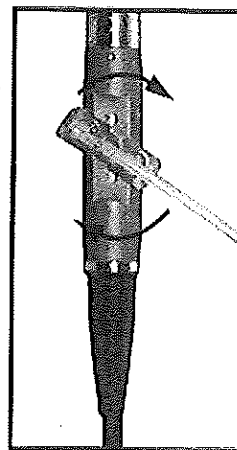
3.2.4 チューピングセットラインアタッチメント

1. イリゲーションを使用する場合、チューピングセットの黒色カセットをコントローラーに取り付けます (44ページ「2.1.4. チューピングセットの取り付け」参照)。

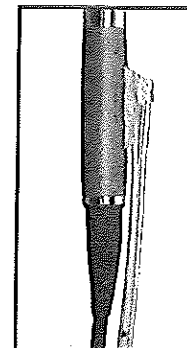
2. 液体バッグにスパイク (接続) をします。

3. チューピングカセットのプラスチック製ハンドピースカセットをセットする前に、Oリングを無菌液で潤滑させます。

4. ハンドピースの先端を上に向けながら、プラスチックのハンドピースカセットを、カセットホルダー開口部内の中心へ、ハンドピースに対し垂直に乗せます。



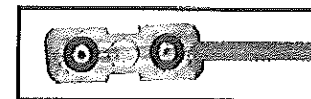
5. カセットが、ハンドピース本体に対し一直線になるまで、時計回りにハンドピースカセットをひねります。回している間、下方への圧力は不要です。



6. ハンドピースの操作中に、チューピングのプラスチックカセット、またはハンドピース接続部分に濡れが発生したら、以下のことを行って濡れを軽減します。

(a) 手順4と5を逆に、チューピングのプラスチックのハンドピースカセットをハンドピースから取り外します。

(b) Oリングを調べて、ハンドピースカセット内に正しく固定されたことを確認します。



(c) 問題がなければ、手順4と5に従って、ハンドピースの中にハンドピースカセットを再装着します。

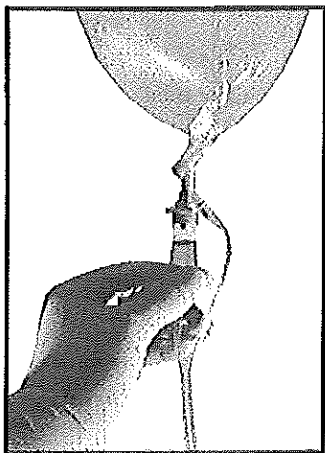
(d) 依然として濡れが起こるようであれば、チューピングセットを取り替えます。

リサーキュレーションだけのE0-9414チュービングセット:

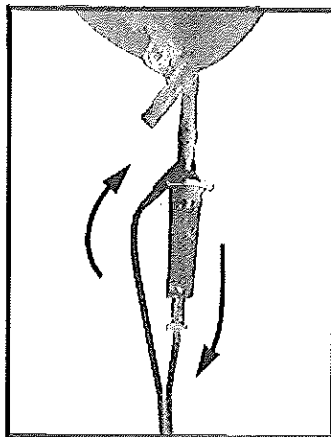
注意: E0-9414チュービングセットを使用するときは、チューブが完全に液体で満たされていないとなりません(チューブ内に空気がないように)。これを怠ると、ハンドピースが過熱して、ハンドピースの損傷を招くおそれがあります。

1. 以下を行って、チューブに液体を満たしてください。

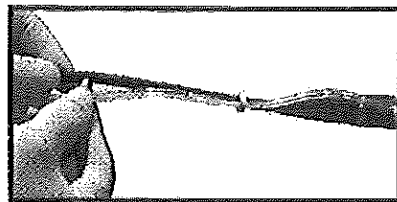
(a) プライミングチャンパーを押しつぶします。



- (b) プライミングチャンパーを繰り返し押しつぶしながら、液体が完全にチューブを満たして、液体バッグに再循環して戻ってくるまでドリルを低速で操作します。使用中は液体がプライミングチャンパー内に残っているのを確認します。



2. ハンドピースコードクリップをハンドピースコードケーブル上にパチンと留めて、チューブを安定させます。



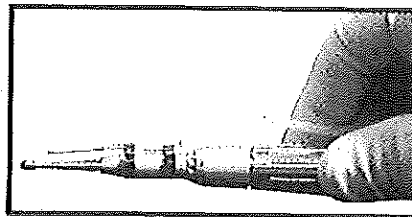
一体型イリゲーションチップでのE0-9415-Aチュービングセット

注記: このチューブセットの一体型イリゲーションチップは、E0-9010ハイスピードドリルのすべての関連バーガードに取り付けられます。

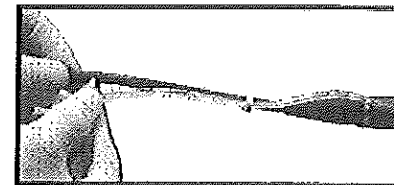
1. 清潔域看護師 — 「TO WASTE CONTAINER」と書かれた排出ラインを、チューブの残り部分から分離して遠ざけ、外回り看護師に渡します。
2. 外回り看護師 — ラインを排出バケツに取り付けます。
3. 清潔域看護師 — イリゲーションチップをバーガードに取り付ける前に、イリゲーションチップを必要な位置に曲げ、黒いクリップを軽く握り、希望の位置にスライドさせます。

注記: ミディアムバーガード使用時は、チューブから先端のクリップを取り外します。

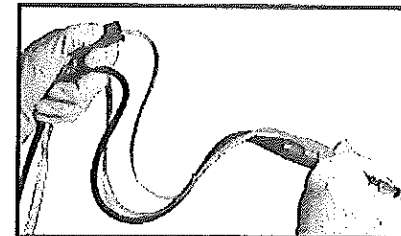
4. 清潔域看護師 — クリップをバーガードの上にパチンとはめ込みます。
注記: 裏クリップには、一体型のリブがあり、これがバーガードの裏溝の中にパチンとはまり込むようになっています。



5. 清潔域看護師 — ハンドピースコードクリップをハンドピースケーブルにパチンと留めて、チューブを固定します。



6. 外回り看護師 — 手術部位への流量を40%~100%の範囲で調節するには、コントローラーの流量増加ボタンを使用します。
7. 清潔域看護師 — 手術部位への流量を40%未満に調節するには、ローラーランプを使用します。



3.2.5 ハンドピースの角度調節

E0-9010ハイスピードドリルは、到達困難な部分にアクセスする際に、別のアタッチメントを使わないで、20°の角度に調節できます。

警告：ハンドピースは0°または20°のどちらか片方のみで、その他の角度で操作してはいけません。

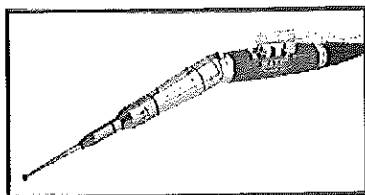
注記：角度の付いた位置が必要でないとき、あるいは積極的な切削を必要としないときは、最適な操作と冷却のために、E0-9010ハイスピードドリルをまっすぐな位置で操作することをお勧めします。

1. ハンドピースの角度を調節するには：

(a) ハンドピース本体のメイン部分とキーレスチャックをつかみます。

(b) コレットロックボタンを押して、チャックを解放します。

(c) コレットロックボタンが適切にはまるまで、ガードコレット側からハンドピースを見て、キーレスチャックを時計回りにねじり、同時に本体を反対回りにねじります。



3.3 パーフォレータードライブ(E0-9015-000-00)の操作

注記：

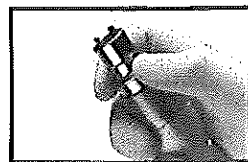
1. ハンドピースコードのボタン及び、すべてのフロントパネルのボタンは、E0-9015パーフォレータードライブを使用時には操作できません。

2. このパーフォレータードライブは、正方向のみの750rpmまでの操作が可能で、オシレート、及びリバースモードはありません。

3. パーフォレータードライブは、ハンドソニシャンクアクセサリを装着することができます。

1. パーフォレータークッターを挿入するには：

(a) チャックスリーブを引っ込みます（ハンドピース後方にスライドさせる）。



(b) パーフォレータークッターを、完全に落ち着くまで、チャックの中に挿入します。



(c) チャックスリーブを放し、パーフォレータークッターを、適切にロックします。

(d) パーフォレータークッターを引っ張り、適切に固定されたことを確認します。

2. ハンドピースを作動させるには、フットスイッチの左、または右ペダルを押します。

グループ2ハンドピース

注記：

1. グループ2ハンドピースは、マイクロチョイスレバー付き及びレバーレスドリル/ソー(5020/6020-021, 022, 023, 024), (5020-025, 6020-026)、ワイヤードライバー(5020-027)で構成されています。

2. グループ2ハンドピースは、パワープロコンソールと、E9000コンソール、及びアドバンテージコントローラーのポート2（コントローラー上部）、またはポート3（コントローラー下部）のどちらでも作動し、どちらのポートでも同一に機能します。

3. ロースピードドリル(5020-026)はポート3（アドバンテージコントローラー下部）では操作できません。

4. マイクロチョイスワイヤードライバー(5020-027)は、フットスイッチで操作できません。

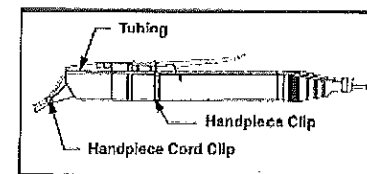
3.4 マイクロチョイスドリル

3.4.1 マイクロチョイスハンドピース用チュービングセット

1. マイクロチョイスハンドピースにE0-9418イリゲーションチューブを取り付けるには：

(a) イリゲーションハンドピースクリップ(5040-130)の溝へ、チューブをしっかりと押し込みます。

(b) ハンドピースの後ろにクリップを取り付けます。



(c) ハンドピースコードクリップを、ハンドピーススケール上にパチンと留め、チューブを固定します。

2. 個々のハンドピースでイリゲーションを行うことのできるイリゲーションチップがいくつかあります（143ページ「6.1 ハンドピース、アタッチメント及び付属品」参照）。チューブとハンドピースに適切なイリゲーションチップを取り付けてください。

3.4.2 マイクロチョイスハイスピードドリルの 術前機能テスト

5020-025/6020-026マイクロチョイスハイスピード
ドリルの操作に先立ち、正しく機能することを確認
するために、以下の術前テストを行ってください。

1. ドリルの操作前に、以下のことをチェックして
ください：

- ・ 部品の緩み、または外れ。
- ・ 物理的な損傷。
- ・ 自由に動かない可動部分。

2. 性能テスト：

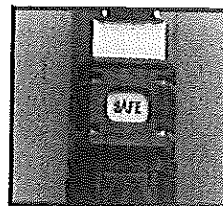
- (a) 71～76ページの指示に従って、適切なガード
とバーを組み立ててください。警告：ガード
とバーが正しく取り付けられていることを確
認してください。これを怠ると、患者や医療
従事者が負傷するおそれがあります。
- (b) 45～55ページにある操作指示に従って、ドリ
ルを100,000rpmで1分間操作して、以下の
事項をチェックしてください：
 - ・ 過度のノイズが無いこと。
 - ・ 過度の振動が無いこと。
 - ・ テスト手順中、または手術での使用中、ド
リルやバーガードに触れると熱くないこと。

- ・ ドリルがその最大設定速度まで上がらない
(対応するドリルのアクティベーションレ
バーを引く、または適切なフットスイッ
チペダルを完全に踏み込んで、最高設定速
度を確認してください。最高速度がコント
ローラーに表示されることを確認してくだ
さい。)

3.4.3 マイクロチョイスハイスピード (00-5020- 025-00/00-6020-026-00) とマイク ロチョイスミディウムスピードドリル (00- 5020-021-00/00-6020-021-00) のアタ ッチメント及び付属品

警告：マイクロチョイスハイスピード、ミディウムス
ピードドリルは、バーガード、コレットロックなしで
は使用しないでください。損傷するおそれがあります。

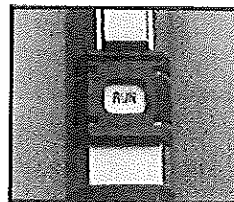
1. いずれかのアタッチメント、またはアクセサ
リを取り付ける前、またはハンドピースを
使用中でない場合、SAFE/RUNスライドを
SAFEの位置にしておきます。



2. バーガード、アタッチメント、及びバーの取り
付けについては、72～76ページをご覧ください。

3. ガードとバーを取り付けた後、ハンドピースを
操作するには：

- (a) SAFE/RUNスライドをRUNの位置にします。
コントローラーはハンドピースのタイプおよび
その最大 (デフォルト) 操作速度を表示します。



ユーザーが、入力選択をしていない場合、各ハンド
ピースは最初、デフォルト設定値で作動します。必
要なモード、方向、及び速度を、36ページの「2.1.3.2
スイッチ1 Day to Dayメモリーの保存操作」の指
示に従ってメモリーに記憶することができます。

- (b) アクティベーションレバーか、適切なフット
スイッチペダルを押し下げます。

注記：ポート3でこれらのハンドピースを操作する
場合、フットスイッチ機能はありません。

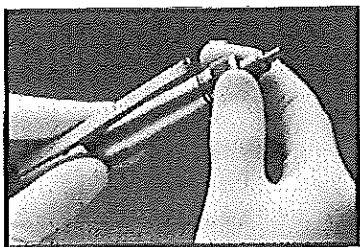
4. 動作速度を変えるには、ポート2からの操作の
場合、45ページの「2.1.5 コントローラー操
作」、または90ページの「3.6.5.1 ハイスピー
ド、ミディウムスピードドリル、ソー及びモ
ジュラーハンドピースを使用するボタン操作」
を参照してください。

3.4.3.1 ミディアム(00-5020-060-00)、ロング(00-5020-061-00)、エクストラロング(00-5020-062-00)バーガード

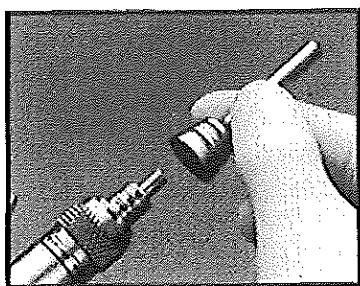
注記：Hallのミディアム5091シリーズバーはミディアムバーガードのみ、ロング5092シリーズバーはロングバーガードのみ、また、エクストラロング5093シリーズバーはエクストラロングバーガードのみ使用してください。

1. バーガード及びバーをハンドピースに固定するには：

(a) ハンドピースのバーロックカラーを反時計回りに回し、OPEN位置にします。



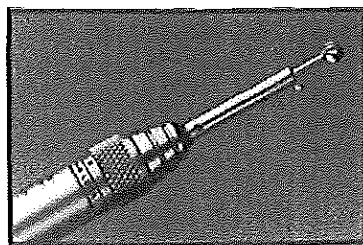
(b) 正しいバーガードをドリルの端にはめます。完全にはまっていることを確認してください。



(c) バーをsafeラインまで、または完全にはまるまで挿入してください。

警告：バー上のsafeラインの印が見えないことを確認してください。損傷や負傷するおそれがあります。

(d) ハンドピースのバーロックカラーを、指示点がLOCKの位置で揃うまで時計回りに回し、バーを適切に固定してください。



(e) バーを引っ張り、適切に固定されていることを確認してください。

2. バーとガードを取り外すには：

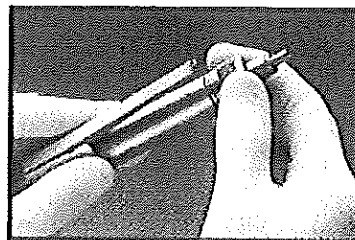
(a) バーロックカラーを「OPEN」位置まで反時計回りにひねり、バーとガードを取り外してください。

3.4.3.2 20°アングル(00-5020-063-00)、エクストラロング20°アングル(00-5020-064-00)アタッチメント

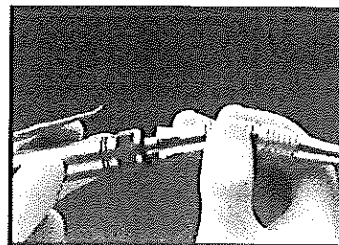
注記：Hallのロング5092シリーズバーは20°アングルアタッチメントのみで、エクストラロング5093シリーズバーは20°アングルエクストラロングアタッチメントのみ使用してください。

1. アタッチメントをハンドピースに固定するには：

(a) ハンドピースのバーロックカラーを反時計回りに回し、「OPEN」位置にします。



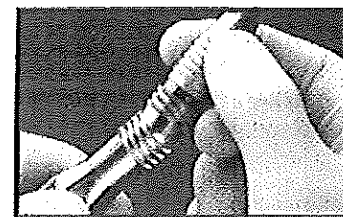
(b) 正しいアングルアタッチメントをドリルの端にはめます。完全にはまっていることを確認してください。



(c) ハンドピースのバーロックカラーを、指示点がLOCKの位置で揃うまで右回りに回し、アタッチメントを適切に固定してください。

2. バーを挿入するには：

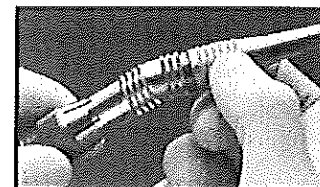
(a) アタッチメントのバーロックカラーを「OPEN」位置まで回してください。



(b) バーをsafeラインまで、または完全にはまるまで挿入してください。

警告：バー上のsafeラインの印が見えないことを確認してください。損傷や負傷するおそれがあります。

(c) アタッチメントのバーロックカラーを、指示点がLOCKの位置で揃うまで右回りに回し、バーを適切に固定してください。



(d) バーを引っ張り、適切に固定されていることを確認してください。

3. バーを取り外すには：

(a) アタッチメントのバーロックカラーを「OPEN」位置まで回し、バーを取り外してください。

4. ガードを取り外すには：

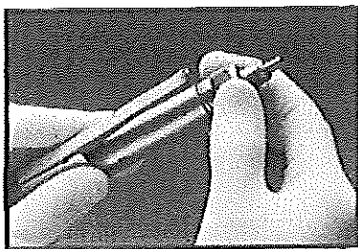
(a) ハンドピースのバーロックカラーを「OPEN」位置まで回し、ガードを取り外してください。

3.4.3.3 マイクロチョイスアングルアタッチメント70° (00-5020-065-00) / アングルアタッチメント70° デンタルヘッド (00-5020-069-00) / アングルアタッチメント90° (00-5020-066-00)

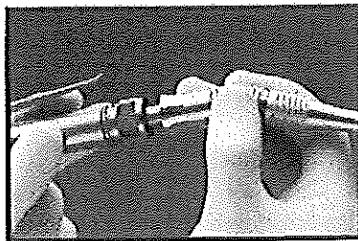
注記：Hallショート5090シリーズ、及びエクストラショート5089シリーズバーは、アングルアタッチメント70°、及びアングルアタッチメント90°のみ使用してください。

1. アタッチメントをハンドピースに固定するには：

- (a) ハンドピースのバーロックカラーを反時計回りに回し、「OPEN」位置にします。



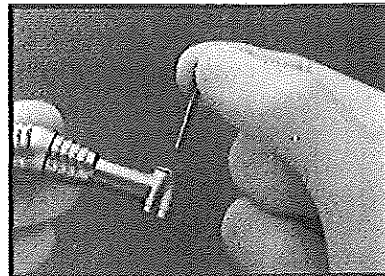
- (b) 適切なアングルアタッチメントを、ドリルの端にスライドさせます。完全にはまっていることを確認してください。



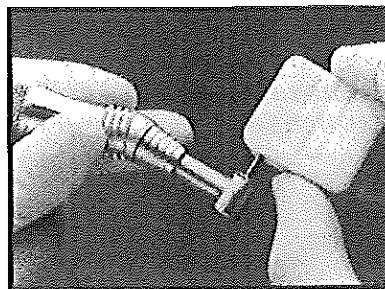
- (c) ハンドピースのバーロックカラーを、指示点「LOCK」位置でそろりまで時計回りに回し、アタッチメントを適切に固定してください。

2. バーを挿入するには：

- (a) アタッチメントの開口部にバーを入れます。



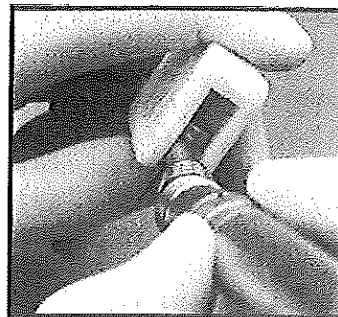
- (b) バーチェンジャー (00-1375-003-00) の溝付き側を利用し、バーを確実に適切に押し込みます。



注記：清掃後、滅菌前に、アングルアタッチメント (5020-063~066, 069) に注油してください。119ページの「4.1.4 アタッチメントの注油方法」を参照してください。

3. バーを取り外すには：

- (a) バーチェンジャーをアタッチメント後ろの開口部に入れます。



- (b) バーチェンジャーをしっかり押し込み、バーを押し出します。

4. アタッチメントを取り外すには：

- (a) ハンドピースのバーロックカラーを「OPEN」位置まで回し、アタッチメントを取り外してください。

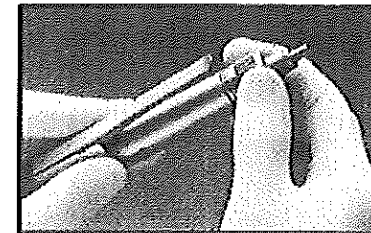
マイクロチョイスアングルアタッチメント70° デンタルヘッド (5020-069)

アングルアタッチメント70° デンタルヘッドは、1/16" サイズ、または直径1.58mmの摩擦グリップバーのみを使用します。この直径の摩擦グリップバーは、Linvatecでは販売していないため、歯科用消耗品販売業者から入手してください。

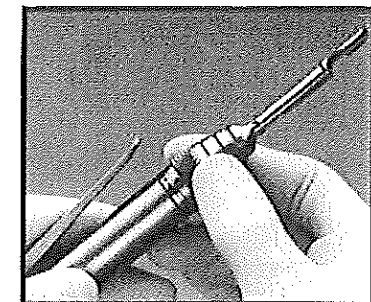
3.4.3.4 ティッシュレトラクターバーガード (00-5020-068-00)

1. アタッチメントをハンドピースに固定するには：

- (a) ハンドピースのバーロックカラーを反時計回りに回し、「OPEN」位置にします。



- (b) ガードをドリルの端にスライドさせます。完全にはまっていることを確認してください。



2. バーをバーガードの先を通して入れ、ハンドピースコレットに挿入します (ヘッド直径4mm以下の5092シリーズバー。バーは5092-136のロングオーバルカuttingバーを推奨。)

3. ハンドピースのバーロックカラーを、指示点「LOCK」位置で揃うまで時計回りに回し、バーを適切に固定してください。

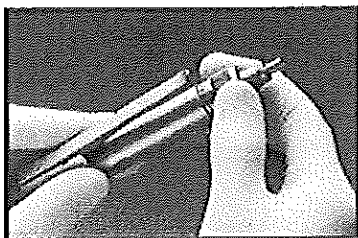
3.4.3.5 ラミネクトミーバーガード (00-5020-067-00)

注記:

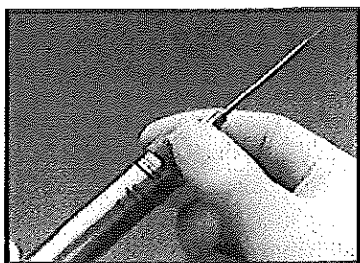
1. ラミネクトミーバーは、ハンドピースにガードやアタッチメントを付ける前に挿入される唯一のバーです。
2. さらに詳しい情報は、マイクロチョイスアングルアタッチメントの添付文書、またはマイクロチョイスバーガードの添付文書を参照してください。

1. バーをハンドピースに固定するには:

- (a) ハンドピースのバーロックカラーを反時計回りに回し、「OPEN」位置にします。



- (b) 正しいバー (写真は5092-103) を挿入します。

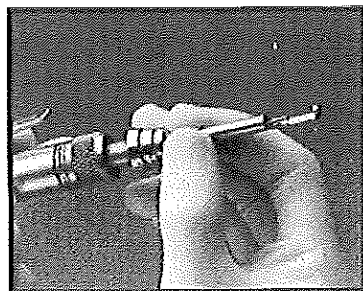


- (c) ハンドピースのバーロックカラーを、指示点が「LOCK」位置に揃うまで時計回りに回し、バーを適切に固定します。

- (d) バーを引っ張り、適切に固定されていることを確認します。

2. ガードをハンドピースに固定するには:

- (a) ラミネクトミーガードをバーとドリルの端にスライドさせます。ガードが完全にはまっていることを確認してください。



3. ガードを取り外すには:

- (a) ガードを引っ張り、ハンドピースから取り外します。

4. バーを取り外すには:

- (a) ハンドピースのバーロックカラーを反時計回りに回して「OPEN」位置にし、バーを取り外します。

3.4.4 ロースピードドリル (00-5020-026-00) の操作

注意: ヘッドアタッチメントが、選択した機能に適合していることを確認してください。不適切なヘッドアタッチメントを選択すると、間違った速度やトルクを引き起こすおそれがあります。

注記:

1. ロースピードドリルは、フットスイッチでのみ操作ができます。したがって、E9000コンソールか、アドバンテージコントローラーのポート2 (コントローラー上部) でのみ操作できます。

2. ロースピードドリルには、必ず適切なアタッチメント-歯科用インプラントドリルヘッド (5020-034) と、インプラントネジ/タップヘッド (5020-035) のいずれかを付けて使用してください。

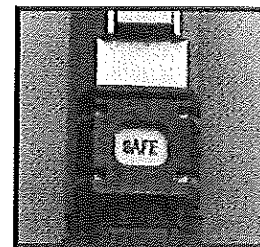
3. ロースピードドリルには、標準の歯科用ラッチバーを接続することができます。

4. ロースピードドリルが「SCREW」、または「TAP」モードに設定されている場合、逆方向の速度は可変できません。

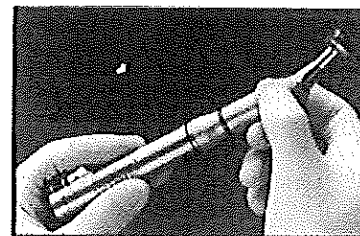
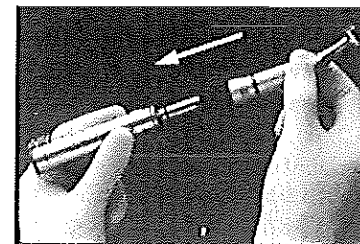
5. このハンドピースの使用中に25in.ozを超えると、ハンドピースは停止し、「MAXIMUM TORQUE」が表示されます。この場合、フットスイッチで次の作動操作を行うだけで、ハンドピースをリセットできます。

1. アタッチメントを接続するには:

- (a) 「SAFE/RUN」スライドスイッチを「SAFE」位置にします。コントローラーは現在の操作モード (「SCREW」「TAP」「DRILL」)、「SAFE ON」、及び設定流速を表示します。(イリゲーションを使用しない場合は、「OFF」が表示されます。)

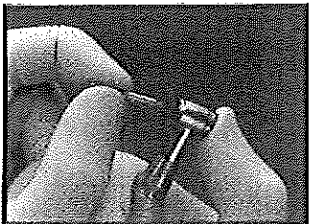


- (b) 適切なアタッチメントをハンドピースの前端へとスライドさせて、完全にはめこんでください。



2. ドリルビットを挿入するには：

- (a) アタッチメントヘッドの後部を押し、正面の開口部にドリルビットを挿入します。
- (b) ドリルビットを適切な位置へと回し入れてから、アタッチメントヘッドから手を放します。



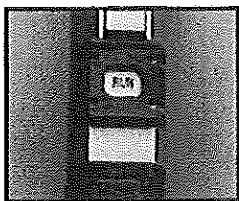
- (c) ビットを引っ張り、適切に固定されたことを確認してください。

3. ドリルビットを取り外すには：

- (a) アタッチメントヘッドの後部を押し、ドリルビットを引き出します。

4. ハンドピースを操作するには：

- (a) 「SAFE/RUN」スライドスイッチを「RUN」位置にします。コントローラーは現在の操作モード、設定流速を表示します。(イリゲーションを使用しない場合は、「OFF」が表示されます。)



- (b) フットスイッチの操作したいペダルを踏みます。

5. 操作モードを変えるには、91ページの「3.6.5.2 ロースピードドリルを使用するボタン操作」を参照してください。

6. ハンドピース速度を変えるには、45ページの「2.1.5 コントローラー操作」、または91ページの「3.6.5.2 ロースピードドリルを使用するボタン操作」を参照してください。

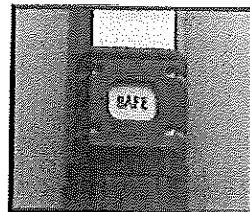
3.5 マイクロチョイスソー

3.5.1 レシプロケーティングソー(00-6020-023-00/00-6020-023-00)の操作

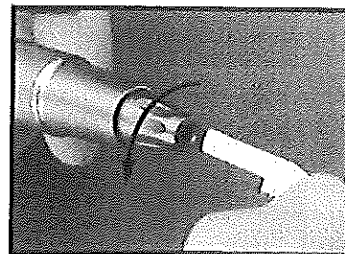
注記：Hall 5053シリーズフラットまたはラウンドシャンク付きブレードのみを使用してください。

1. ブレードを取り外すには：

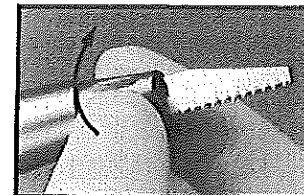
- (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



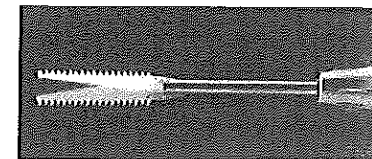
- (b) ブレードロックカラーを反時計回りにひねり、ブレードのシャンクをコレットに挿入します。



- (c) ブレードロックカラーを時計回りにひねり、確実に締めてください。

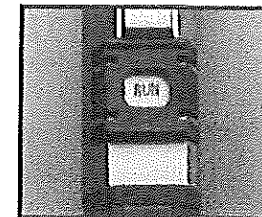


- 2. ラウンドシャンクブレードは、360°の範囲内での位置にもはめることができます。

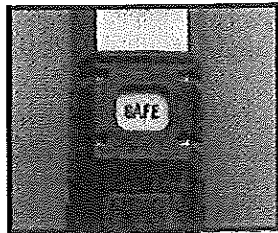


- 3. ハンドピースを一時的に起動し、ブレードが確実にしまっていることを確認してください。

- (a) 「SAFE/RUN」スライドスイッチを「RUN」位置にします。コントローラーは、ハンドピースのタイプ及びその最大(デフォルト)rpmまたは設定速度を表示します。アドバンテージコントローラーのポート2においてイリゲーションを使用している場合、上部ディスプレイでは設定流速も表示します。(イリゲーションを使用しない場合は、「OFF」が表示されます。)



- (b) アクティベーションレバーまたは適切なフットスイッチペダルを押し下げます。
 - (c) ハンドピースを「SAFE」位置に戻します。
 - (d) ブレードロックカラーを締め直します。
4. 動作速度を変更するには、45ページの「2.1.5 コントローラー操作」、90ページの「3.6.5.1 ハイスピード、ミディアムスピードドリル、ソー及びモジュラーハンドピースを使用するボタン操作」を参照してください。
5. ブレードを取り外すには：
- (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



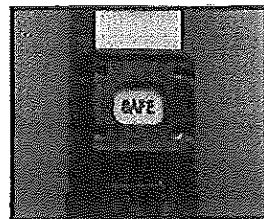
- (b) ブレードロックカラーを反時計回りにひねり、ブレードを取り外します。

3.5.2 サジタルソー(00-5020-022-00/00-6020-022-00)の操作

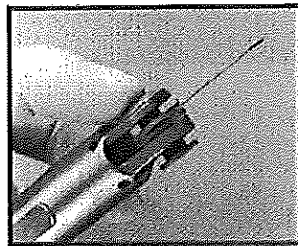
注記：Hall5023シリーズブレードのみを使用してください。

注意：

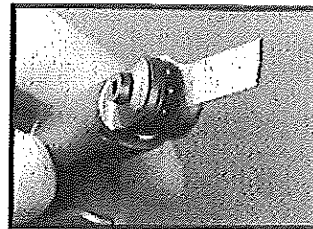
1. ブレードコレット機構は完全に閉じて、ブレードが確実に適切に保持されていることを確認してください。
 2. サジタルソーでは、XLハンドピースアクティベーションレバー(5052-059)は使用できません。
1. ブレードを取り付けるには：
- (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



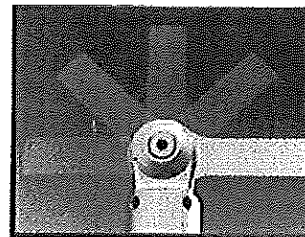
- (b) コレットロック機構を押し下げてコレットを開きます。ブレードをコレット内のピンに位置決めします。



- (c) ハンドピースコレット部の反対側を押し下げ、ブレードを適切に固定します。

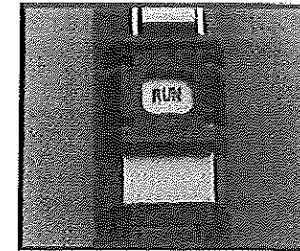


- (d) ブレードは180°円弧内で45°間隔で位置決めできます。



2. ハンドピースを起動して、ブレードが確実に取り付けられていることを確認します。ハンドピースを起動するには：

- (a) SAFE/RUNスライドを「RUN」位置にします。コントローラーは、ハンドピースのタイプ及びその最大(デフォルト)rpmまたは設定速度を表示します。アドバンテージコントローラーのポート2においてイリゲーションを使用している場合、上部ディスプレイでは設定流速も表示します。(イリゲーションを使用しない場合は、「OFF」が表示されます。)

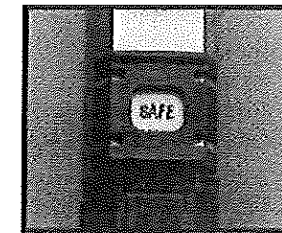


- (b) アクティベーションレバーまたは適切なフットスイッチペダルを押し下げます。

3. 動作速度を変更するには、45ページの「2.1.5 コントローラー操作」、90ページの「3.6.5.1 ハイスピード、ミディアムスピードドリル、ソー及びモジュラーハンドピースを使用するボタン操作」を参照してください。

4. ブレードを取り外すには：

- (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



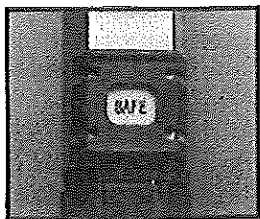
- (b) コレットロック装置を押し下げ、ブレードを取り外します。

3.5.3 オシレーティングソー (00-5020-024-00 / 00-6020-024-00) の操作

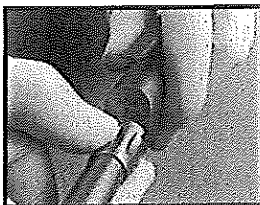
注記：Hall5023シリーズブレードのみを使用してください。

1. ブレードを取り付けるには：

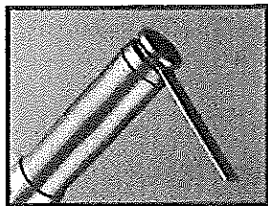
- (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



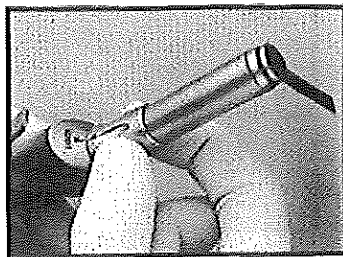
- (b) 矢印が「LOCK」位置に揃わなくなるまで、ブレードロックカラーをひねってください。



- (c) ブレードをコレット内部のピンに位置決めします。

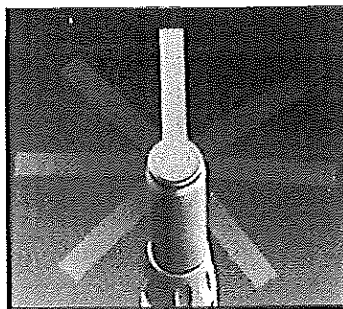


- (d) ブレードロックカラーをひねって、「LOCK」位置に矢印を揃え、ブレードを固定します。



注意：ブレードロックカラーは完全に閉めて、ブレードが確実に適切に保持されていることを確認してください。

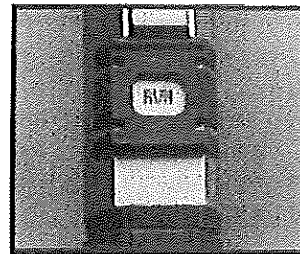
2. ブレードはコレットの360°の周囲内で45°間隔で位置決めが可能です。



3. ハンドピースを一時的に起動し、ブレードが確実に取り付けられていることを確認してください。

4. ハンドピースを起動するには：

- (a) SAFE/RUNスライドを「RUN」位置にします。コントローラーは、ハンドピースのタイプ及びその最大（デフォルト）rpmまたは設定速度を表示します。アドバンテージコントローラーのポート2においてイリゲーションを使用している場合、上部ディスプレイでは設定流速も表示します（イリゲーションを使用しない場合は、「OFF」が表示されます。）。



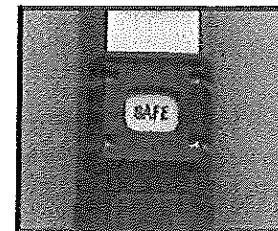
- (b) アクティベーションレバーまたは適切なフットスイッチペダルを押し下げます。

5. ブレードロックカラーを締め直します。

6. 動作速度を変更するには、45ページの「2.1.5 コントローラー操作」、90ページの「3.6.5.1 ハイスピード、ミディアムスピードドリル、ソー及びモジュラーハンドピースを使用するボタン操作」を参照してください。

7. ブレードを取り外すには：

- (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



- (b) 矢印がLOCKの位置に揃わなくなるまでブレードロックカラーをひねって、ブレードを取り外します。

3.5.4 レバーレスハンドピースの操作

注意：

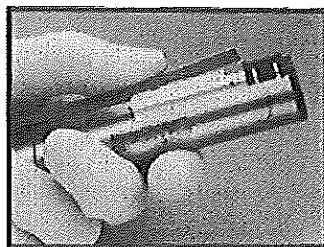
1. ハンドピースアクティベーションレバーを取り外す前に、必ずSAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にしてください。
2. ハンドピースをフットスイッチで使用する際は、必ずハンドピースアクティベーションレバーを取り外してください。
3. フットスイッチが使用中で、ハンドピースアクティベーションレバーが取り外されていない場合、アクティベーションレバーを押し下げても、フットスイッチの使用が中止されるまでハンドピースは制御されません。

警告：サジタルソーでは、XLアクティベーションレバー(5020-059)を使用しないでください。負傷のおそれがあります。

1. ハンドピースアクティベーションレバーを取り外すには：
 - (a) SAFE/RUNスライドを「SAFE」位置にします。



- (b) アクティベーションレバーのリップ部分を押し下げます。ハンドピースから外れるまで、SAFE/RUNスライドに向かって押し下げる。



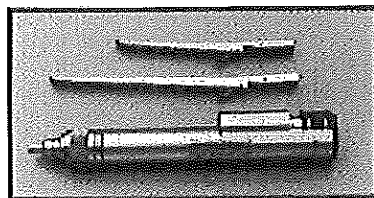
注記：レバーを外す際にコントローラーにハンドピースが接続されている場合、コントローラーがテキスト表示モードに設定されていると、「MAGNETIC FIELD」と表示されます。グラフィック表示モードに設定されている場合、コントローラーは以下のように表示します。



2. ハンドピースアクティベーションレバーを取り付けなおすには：

- (a) レバーのピンを溝に挿入し、上記の手順を逆にを行います。

注記：元のレバーが短すぎる場合は、取り外してXLハンドピースアクティベーションレバーを取り付けてください。



3.6 マイクロチョイスワイヤードライバー(00-5020-027-00)、アタッチメント及び付属品

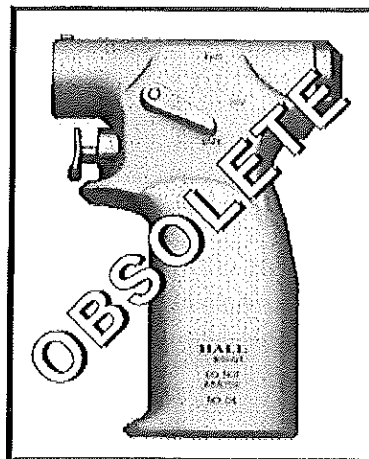
注記：モジュラーハンドピースは、フットスイッチでは作動しません。

3.6.1 アタッチメントの取り付け/取り外し

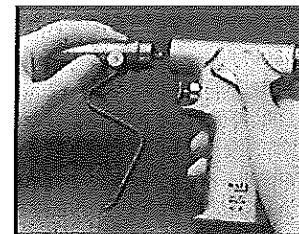
すべてのモジュラーハンドピースアタッチメントは、同じ方法で取り付け/取り外しが可能です。アタッチメントについては、86~89ページを参照してください。

1. アタッチメントを取り付けるには：

- (a) サムレバーをSAFEの位置にします。

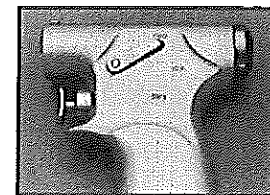


- (b) アタッチメントの軸をハンドピースの開口部に向けず。軸を挿入し、共に確実に合はまるまで押し込みます。



2. ハンドピースをいずれかのアタッチメントを付けて使用するには：

- (a) サムレバーを「FWD」または「REV」位置にします。

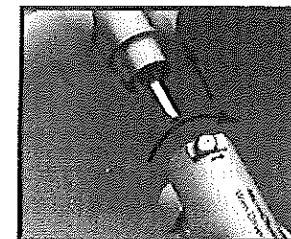


- (b) トリガーを引いて、ハンドピースを起動します。

3. アタッチメントを取り外すには：

- (a) サムレバーを「SAFE」位置にします。

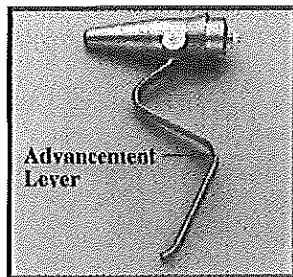
- (b) スライドロックを矢印の方向にずらし、アタッチメントを取り外します。



3.6.2 ピン及びワイヤードライバーアタッチメント

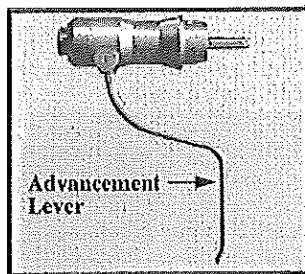
ピンとワイヤーの挿入、及びピンまたはワイヤーのいずれのハンドピースの機能は、どのアタッチメントでも同じです。

3.6.2.1 ワイヤードライバーアタッチメント



注記：ワイヤードライバーアタッチメントカニューレは、0.028in~0.062in(0.7mm~1.6mm)のスレッド、またはノンスレッドのK-ワイヤーを使用することができます。

3.6.2.2 ピンドライバーアタッチメント

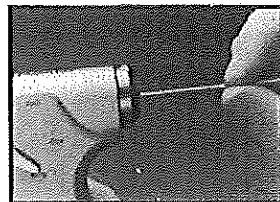
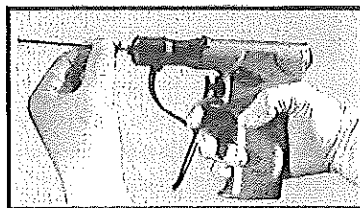


注記：ピンドライバーアタッチメントカニューレは、0.079in~0.125in(2.0mm~3.2mm)のスタイマンピンを使用することができます。

3.6.2.3 ピン及びワイヤーの挿入

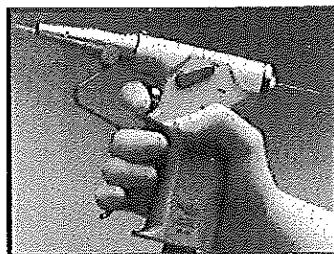
1. ピンまたはワイヤーを挿入するには：

- アドバンスメントレバーを前に押すか、ハンドピースから引き離します。
- ワイヤーまたはピンをハンドピースの前か、後ろのどちらかから挿入します。

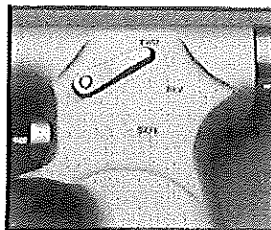


2. ハンドピースを操作するには：

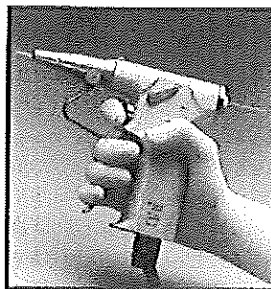
- アドバンスメントレバーを握り、ワイヤーまたはピンをつかみます。



- サムレバーを「FWD」(正方向)位置にします。



- アドバンスメントレバーを握り、同時にトリガーを引いて、ワイヤーまたはピンを打ち込みます。



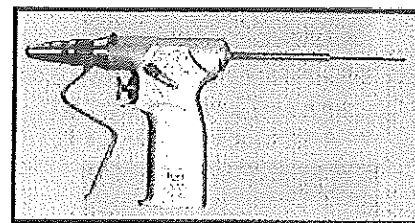
3. ハンドピースをワイヤーまたはピンに再位置決めするには：

- トリガーを放して回転を止めます。
 - アドバンスメントレバーを放して、前に押します。
 - ワイヤーまたはピンに沿ってハンドピースをずらしてください。
4. 手順2に従って、ワイヤーまたはピンをさらに打ち込みます。

5. 患者から通したワイヤーを取り除くには：

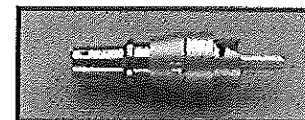
- ワイヤーをアタッチメントの上部に挿入します。
- ハンドピースを「REV」(逆方向)位置にします。
- アドバンスメントレバーを握り、同時にトリガーを引きます。

6. ワイヤードライバー(5053-123)をハンドピースの後ろに取り付けることにより、長いワイヤーやピンが曲がりすぎるのを防いだり、ユーザーを保護することができます。



注記：アドバンスメントレバーを前に押さない限り、ワイヤーまたはピンがアタッチメントから抜けることはありません。

3.6.3 ユニバーサルドリルアタッチメント(00-5020-029-00)



仕様：

最大動作：

速度：1,000rpm、正転または逆転

設定：10~100%まで10%間隔で増加